

県内の少年非行(平成29年5月末)

兵庫県警察本部少年育成課

注: 数値は、平成28年は確定値、平成29年は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

平成29年5月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は918人で前年同期(1,107人)に比べて189人(17.1パーセント)減少、不良行為少年は12,995人で、前年同期(13,878人)に比べて883人(6.4パーセント)減少している。

区分		年別	平成 29 年 5 月 末	平成 28 年 5 月 末	増 減	
					人 員	率 (%)
非 行 少 年	刑 法 犯	犯罪少年	589	731	-142	-19.4
		触法少年	183	227	-44	-19.4
		計	772	958	-186	-19.4
	特 別 法 犯	犯罪少年	71	76	-5	-6.6
		触法少年	26	19	7	36.8
		計	97	95	2	2.1
		ぐ犯少年	49	54	-5	-9.3
	合 計	918	1,107	-189	-17.1	
	不良行為少年	12,995	13,878	-883	-6.4	

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	平成 29 年 5 月 末		平成 28 年 5 月 末		増 減	
		構成比 (%)		構成比 (%)		人 員	率 (%)
刑 法 犯 少 年		772	100	958	100	-186	-19.4
	凶 悪 犯	5	0.7	19	2.0	-14	-73.7
	粗 暴 犯	140	18.1	130	13.5	10	7.7
	窃 盗 犯	447	57.9	565	59.0	-118	-20.9
	知 能 犯	11	1.4	6	0.6	5	83.3
	風 俗 犯	17	2.2	17	1.8		
	そ の 他	152	19.7	221	23.1	-69	-31.2
	う ち 占 離	73	9.5	124	12.9	-51	-41.1

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	平成 29 年 5 月 末		平成 28 年 5 月 末		増 減	
		構成比 (%)		構成比 (%)		人 員	率 (%)
総 数		772	100	958	100	-186	-19.4
未 就 学							
小 学 生		84	10.9	102	10.6	-18	-17.6
中 学 生		270	35.0	381	39.8	-111	-29.1
高 校 生		228	29.5	285	29.7	-57	-20.0
そ の 他 学 生		24	3.1	32	3.4	-8	-25.0
有 職		112	14.5	92	9.6	20	21.7
無 職		54	7.0	66	6.9	-12	-18.2

4 初発型非行の状況

区分	年別	平成 29 年 5 月 末		平成 28 年 5 月 末		増 減	
		構成比 (%)		構成比 (%)		人 員	率 (%)
総 数		429	100	567	100	-138	-24.3
万 引 き		204	47.5	266	46.9	-62	-23.3
オ ー ト バ イ 盗		53	12.4	62	10.9	-9	-14.5
自 転 車 盗		99	23.1	115	20.3	-16	-13.9
占 有 離 脱 物 横 領		73	17.0	124	21.9	-51	-41.1
刑法犯少年に占める率 (%)		55.6	-	59.2	-	-3.6	ポイント

少年非行のその他の特徴

全刑法犯検挙・補導人員の16.0パーセント(前年同期比-3.4ポイント)を少年が占めている。

刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の57.9パーセントを占め、次いで粗暴犯の18.1パーセントとなっている。

不良行為少年では、喫煙(7,136人)と深夜はいかい(4,787人)が全体の91.8パーセントを占めている。